

三条市子ども・若者総合サポートシステム
平成24年度活動実績・平成25年度活動計画
【虐待防止部会】

《平成24年度活動実績》

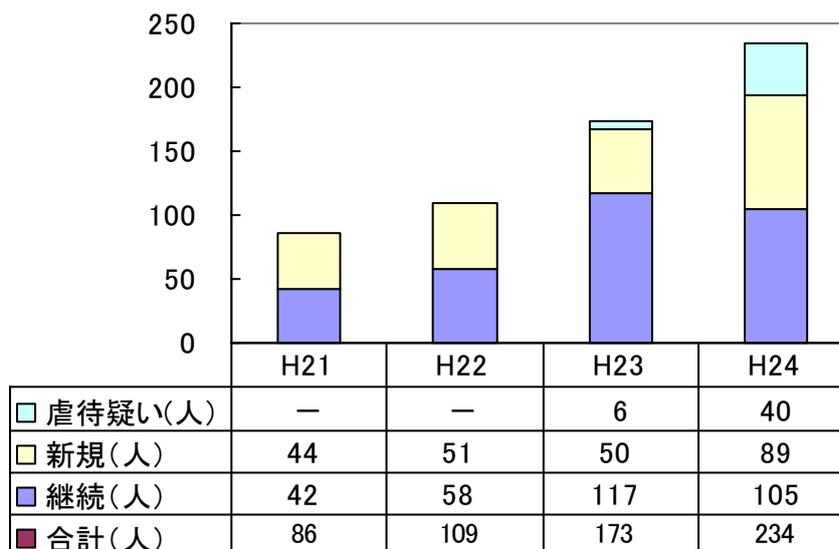
1 虐待防止部会 対象者の把握状況と対応

(1) ア. 虐待管理件数（平成25年3月末現在）

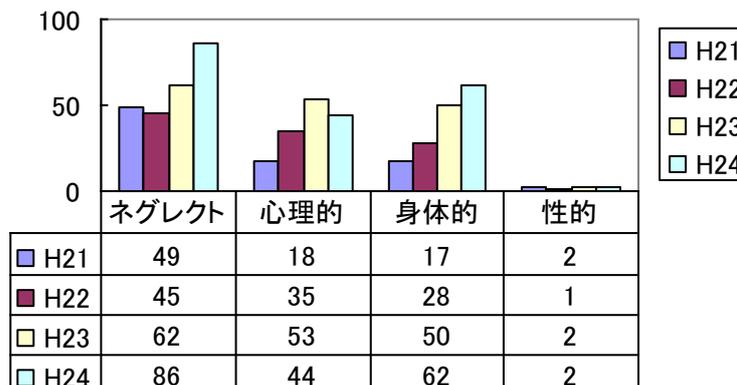
区分	虐待			
人数（人）	151 (再) 特定妊婦 6			
他の区分と重複している件数	非行 5	不登校 3	障がい 17	若者 —

イ. 子どもの虐待に関する相談状況（平成24年度累計）

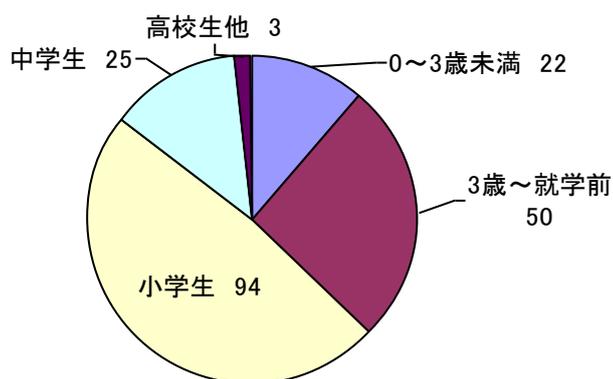
①相談件数（被相談者数）



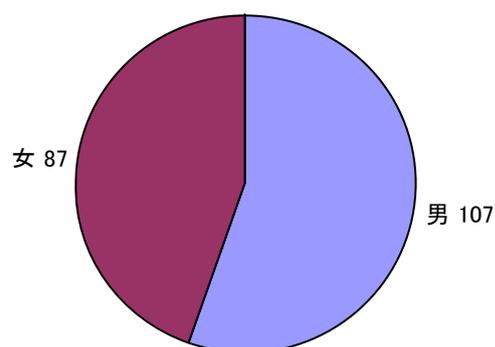
種類別内訳の推移



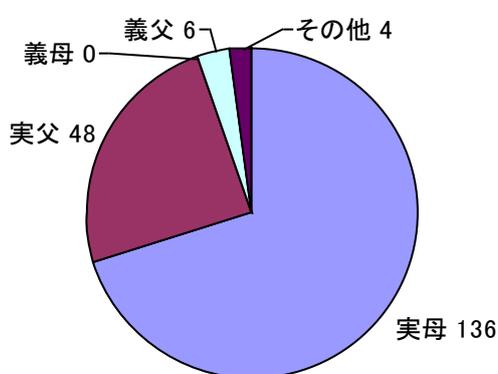
被虐待児の年齢別内訳（人）



被虐待児の男女別内訳（人）



主な虐待者別（人）



受付経路別

	家族 親戚	近隣 知人	保育所(園) 幼稚園	福祉 事務所	小・中 学校	児童相 談所	その他	計
被相談者(人)	29	8	28	7	39	23	60	194
割合 (%)	15.0	4.1	14.4	3.6	20.1	11.9	30.9	100

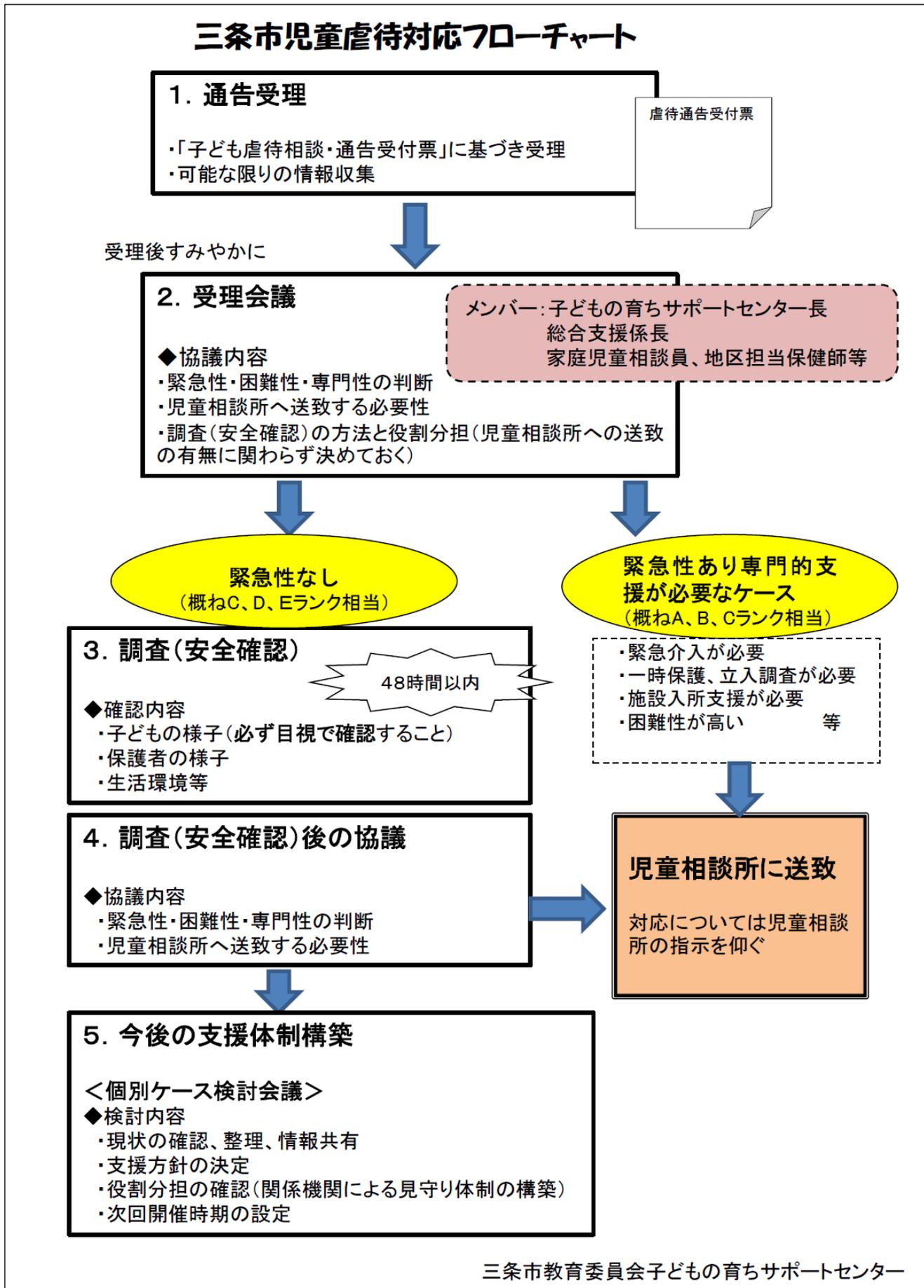
②一時保護人数

	H21	H22	H23	H24
延人数(人)	11	13	11	19
実人数(人)	11	10	9	15

※一時保護とは

児童虐待防止法では、児童虐待に係わる通告(児童福祉法第6条第1項)又は市町村等からの送致(児童福祉法第25条の7第1項第1号等)を受けた場合、子どもの安全の確認を行うための措置を講ずるとともに、必要に応じ一時保護(児童福祉法第33条第1項)を行うものとされ、その実施に当たっては速やかに行うものとされている(児童虐待防止法第8条)。

三条市児童虐待対応フローチャート



2 虐待防止部会 会議開催状況

会議名	回	月 日	場 所	内 容 等	参加 機関数
実務者会議	第1回	H25年 2月15日	三条市役所 栄庁舎	・ケース進行管理検討会議について(実績報告) ・事例研究(事例発表・意見交換)	18機関
実務者会議 〈ケース進行管理検討会議〉	第1回	6月5日	三条市役所 栄庁舎	全ケースについての支援体制の確認	8機関
	第2回	9月28日			8機関
	第3回	12月19日			8機関
	第4回	3月5日			8機関
個別ケース検討会議	34回	ケース関係者が参集し、情報共有、支援体制の構築、支援の役割分担について検討を行った。			

3 啓発活動

児童虐待防止を目的とした市民及び関係機関に向けた啓発活動を実施した。

- (1) 11月の「児童虐待防止推進月間」を中心に、国や県からのポスター・チラシ・カードなどを活用し市民に広報
- (2) 燕三条FMで広報
- (3) 保育所(園)・学校の実務担当者に対して、児童虐待対応について周知

4 研修会・講演会

題名	月 日	場 所	内 容 等	参加 人数
虐待防止部会 専門研修会	【目的】虐待防止と虐待の早期発見・早期介入を目的とし、保育職員・学校職員の資質向上を図る。			
	第1回 8月20日 (月)	三条市役所 栄庁舎	講 義：虐待防止と虐待の早期発見・早期介入について 講 師：中央児童相談所職員 講義・事例検討(グループワーク)・情報交換 対象者：小学校・中学校・児童クラブ職員で今まで虐待 研修を受けたことのない方が優先。	22人
	第2回 8月29日 (水)	三条市 総合福祉 センター	講 義：虐待防止と虐待の早期発見・早期介入について 講 師：中央児童相談所職員 講義・事例検討(グループワーク)・情報交換 対象者：保育園・保育所・幼稚園・子ども発達相談室職 員で今まで虐待研修を受けたことのない方が 優先。	42人

題名	月 日	場 所	内 容 等	参加 人数
子どもの虐待 防止講演会	【目的】 子育て中は親の価値観で子どもを見てしまいがちだが、親の視点を変えることで子どもの見方が変わってくる。肩の力を抜いて子育てが出来るようになることで虐待防止を図る。			25 人
	11 月 10 日 (土)	総合福祉 センター	演 題：『キラッと光る子育て・親育ち』 ～ほめる言葉でHAPPY コミュニケーション～ 講 師：東京家庭教育研究所 講師 前田 由美子氏 対象者：市民 子ども・若者総合サポート会議虐待防止部会関係機関職員	

その他関係事業

○子育て講座：NP 講座 (Nobody's Perfect～完璧な親なんていない～)

【目的】 乳幼児を持つ保護者の育児不安等を軽減し、児童虐待の予防推進を図るとともに、保護者同士の情報交換や仲間づくりを支援する。

全6コースを4回実施、参加者数239人

5 成果・課題

活動の成果	活動から見えてきた課題
<p>【実務者会議について】 実務者会議の開催は1回であったが、実際に虐待対応を行った保育所長からの事例発表を通して各所属機関においても身近な問題として捉えてもらうことができ、活発な意見交換ができた。</p> <p>【専門研修会について】 所属別（保育と学校）に分けて開催したことにより、同じ視点で課題が共有できた。 また具体的な事例を挙げての講義であったため、すぐに役立つと好評であった。</p> <p>【虐待通告について】 通告の周知が徹底されてきたためか、学校・保育所からの通告件数が多くなり早期発見・早期対応ができるようになった。</p> <p>【虐待防止講演会について】 参加者は少なかったが、内容が分かりやすく子育てに活かせる内容であった。子育てに悩んでいたが建設的に考えられた等、好評であった。</p>	<p>【専門研修会について】 私立幼稚園からの参加がないため、どのように参加を求めていくか対策を講じる必要がある。</p> <p>【虐待通告について】 傷・痣を早期に発見しているにもかかわらず通告が遅く、その日の内に対応できないケースがあった。施設内で発見後の対応体制のシステム作りの推進と、課内の担当者が不在時には、誰でも通告を受け付けることの周知徹底が必要。</p> <p>【虐待防止講演会について】 講演会は他機関でも数多く開催されており、聞いてほしい方ほど足を運ばない傾向にあり、チラシでの周知では集客が見込めない。虐待防止については対象者を幅広くした講演会はせず、対象者を絞った形での NP プログラムなどで虐待防止に努めたい。</p> <p>【ケース進行管理検討会議について】 虐待ケースの重症度の判定を、その場の情報だけで判断するのは難しいとの意見があった。更に年4回の会議において毎回100件を超すケースが対象となるため、今年度は会議を1日とする。</p>

《平成 25 年度活動計画》

1 会議開催予定

会議名	回	月	場 所	内 容 等
実務者会議	第 1 回	7 月	三条市役所 栄庁舎	ケース進行管理検討会議の実績報告・事例検討
	第 2 回	2 月		
実務者会議 〈ケース進行管理検討会議〉	第 1 回	6 月 24 日	三条市役所 栄庁舎	虐待ケースの状況の確認、援助方法等の確認・見直し
	第 2 回	9 月 27 日		
	第 3 回	12 月 24 日		
	第 4 回	3 月 20 日		
個別ケース検討会議	随時		情報共有、支援体制の構築、支援の役割分担	

2 啓発活動

児童虐待防止を目的とした市民及び関係機関に向けた啓発活動を実施する。

- (1) 11 月の「児童虐待防止推進月間」を中心に、国や県からのポスター・チラシ・カードなどを活用し市民に広報
- (2) 燕三条 FM で広報
- (3) 保育所（園）・学校の実務担当者に対して、児童虐待対応について周知

3 研修会

題名	月 日	場 所	内 容 等	参加 予定人数
専門研修会	【目的】 児童虐待の早期発見、対応からその後の支援、見守りについて事例検討、演習を通して資質向上を図る。			
	未定	未 定	未定	未定
	未定			

その他関連事業

○子育て講座：NP 講座（Nobody's Perfect～完璧な親なんていない～）

全 6 コースを 4 回実施予定

○乳児全戸訪問（こんにちは赤ちゃん）事業

生後 4 か月以内の乳児のいる全ての家庭を助産師、看護師等が訪問し、乳児家庭の孤立感を防ぎ、乳児の健全な育児環境の確保を図る。

○健康推進員の家庭訪問による乳幼児健診等の案内配布

虐待予防及び早期発見と地域における育児支援を目的として 3 か月児健診、10 か月児健康相談会、1 歳 6 か月児健診の案内を家庭訪問により配布。